

東 魂



埼玉県立越谷東高等学校
剣道部通信
第 36 号 2021/4/20

『令和 3 年度春季東部支部高校剣道大会③』

工藤 直大

東部支部大会の団体戦では、補欠なので試合メンバーを応援することしか出来ませんでした。試合はとても良い雰囲気だったと思います。今回試合を観て得たものを今後の部活動に活かしていきたいと思いました。また、大会の準備は 2 回目ですがとても大変で、大会準備をして下さる方々の苦勞を身をもって体験することができ、今後の大会には感謝の意を持って参加したいと感じました。個人戦では、少し気が緩んでると思われる場面があったので、しっかり反省をし、2 度はないように常に初心を忘れない様にしようと改めて思いました。また、仲間や各校の代表の試合を観て、お土産を持ち帰ってくるので、それも今後活かしていきたいと思います。東部支部大会を終えて、良いものと反省を得られたので、改めて今後の部活動に活かしたいと感じました。



笹原 真翔

まず男子県大会出場できたことを嬉しく思います。レギュラーメンバーとして取るべきところを取りきれなかったり、反省点はありますが、県大会の切符を手にすることができてとても嬉しいです。個人戦は一本取って気を抜いて負けてしまいました。今後の稽古を積んで次の東部地区大会では上位を狙っていききたいと思います。



重見 拓海

今回の大会の 1 日目は私は応援をしたりしていましたが応援をしてる側からでもわかるぐらいにチームが団結していてとてもよい雰囲気でした。その結果 3 位になることができました。3 位というのは悔しい結果でもうれしい結果でもあります。県大会の出場権ももらえたし良かったと思います。2 日目は私は選手として出させてもらいました。結果は一回戦目敗退という悔しい結果に終わってしまいましたが高校生になって初めて出させてもらった公式戦だったので学ぶことも多かったです。試合の内容に関しては自分の動画を見返してしっかりと反省しこれからの稽古に活かしていきたいです。この二日間では剣道のこと以外にもそれ以外の礼法などについても反省すべき点が多くあったと思います。自分でこれはよくなかったなとおもったことはしっかりと振り返り、これからの稽古や生活などに活かしていきたいです。

